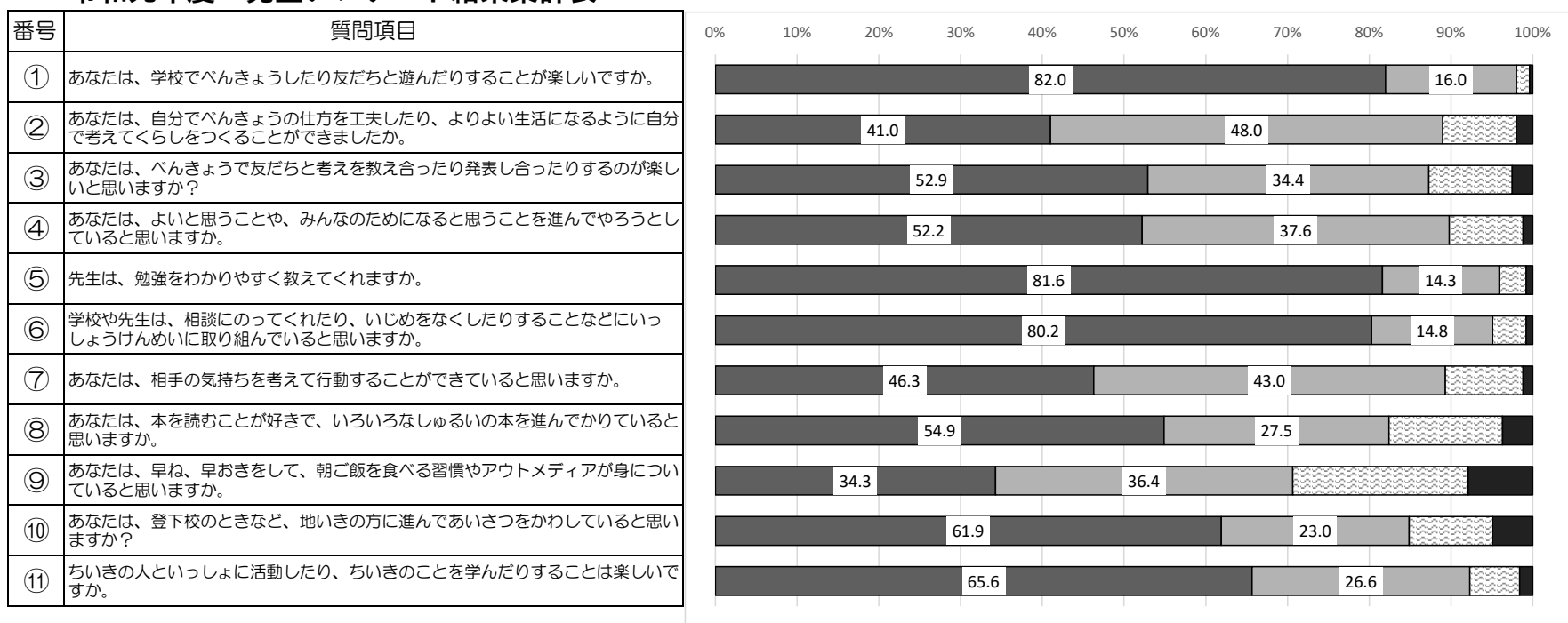
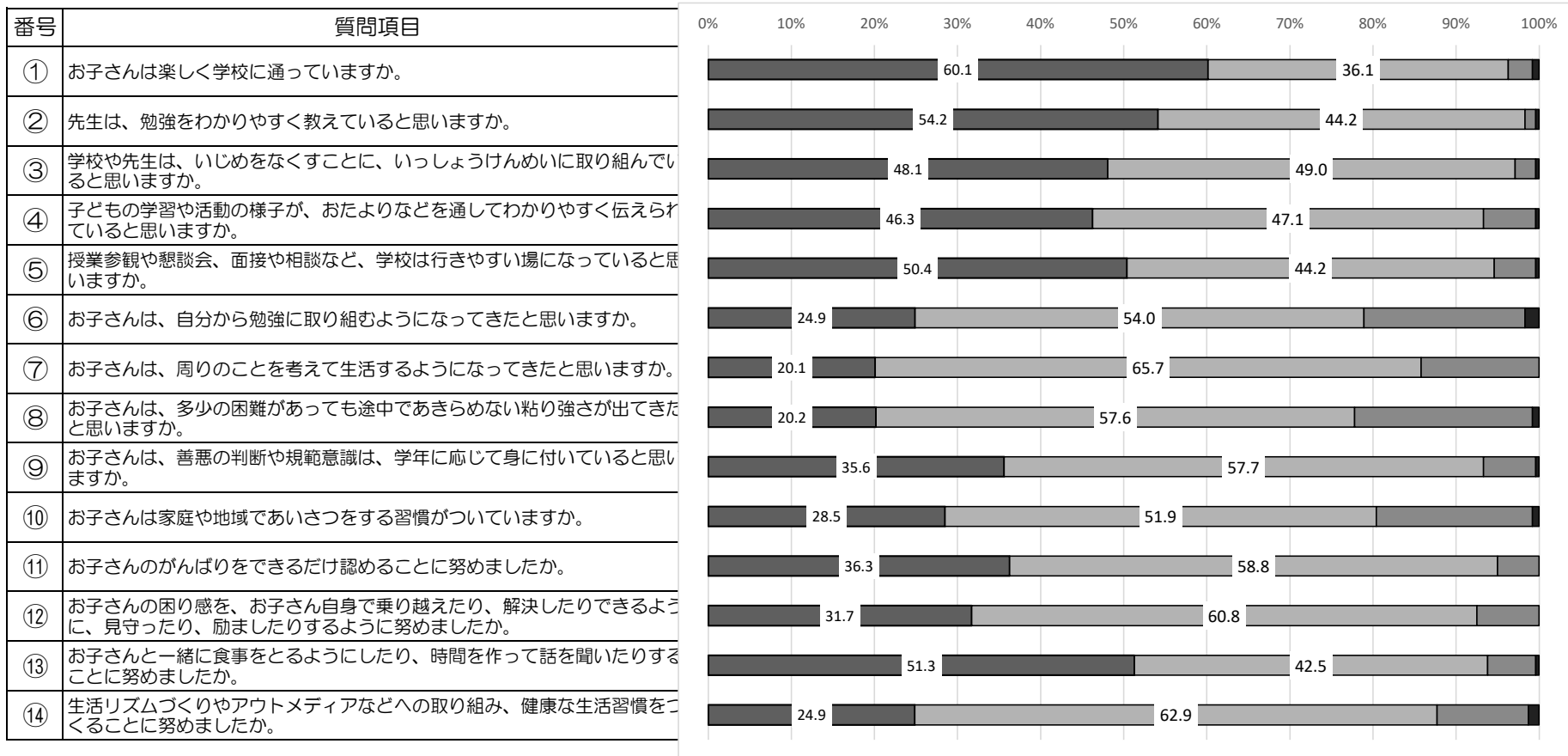


令和元年度 児童アンケート結果集計表



- ◎ 学校で勉強をしたり友達と遊んだりすることが楽しいという回答が98パーセントと高い数値を示しています。学校で学習したり友達と関わったりすることで自分の成長を自覚できたことが楽しさにつながっていると考えられます。そう思わない子どもいることを念頭に置き、くらしも見とりながら教育活動を行っていききたいと思います。
- ◎ 勉強をわかりやすく教えてくれる、相談に乗ってくれたり、いじめをなくそうと一所懸命に取り組んでくれたりしている、の項目について95%以上の児童が回答しています。授業改善や二者面談等の成果と考えられますが、まだ十分ではないと考えている児童もいることを真摯に受け止め、取り組んでいきたいと考えます。
- ◎ 昨年度との比較の中で最も大きく伸びたのは、「あなたはべんきょうで友だちと考えを教え合ったり発表し合ったりするのが楽しいと思いますか？」の項目でした。昨年度と比べると10ポイント以上伸びました。授業改善の取り組みが、少しずつ現れてきているのかもしれませんが。
- △ 規則正しい生活やアウトメディアへの取組みについて昨年度に比べ大きく改善してきています。しかし、できていると回答している児童は70%程度と全体の中では大きく落ち込んでいます。特に学年が進むにつれて、できたと回答する割合が減る傾向にあります。今後も家庭と連携・協力しながら取組みを進めたいと考えます。
- △ 「あなたは、登下校のときなど、地域の方に進んであいさつをかわしていると思いますか？」に対してできたという回答の割合は昨年度に比べ1ポイント程度の増加でした。校内では計画委員会が中心となりあいさつ運動を展開し、気持ちのよいあいさつができてきていると感じていますが、実践の場ではまだ表出していないと考えます。
- △ 昨年度大きく数値が下がったとお伝えした⑧の設定ですが、今年度は7ポイントの増加でした。高学年になるに従い、好きな本のジャンルは固定化されてくる傾向があるようです。今後⑧の項目については内容を再検討していききたいと思います。

令和元年度 保護者アンケート結果集計表



- ◎ 95%以上の保護者から、お子さんが楽しく学校に通っていると回答していただいています。ご家庭でのエネルギーの十分な充電と声かけ、また、一人一人の子どもを理解し、個に応じて指導を積み重ねている成果ととらえたいと思います。
- ◎ 勉強をわかりやすく教えていると95%以上の保護者から回答していただいています。しかし、下学年では十分とは言えないという回答もいただいております。これからも一人一人の子ども理解を深め、学びの文脈を大切に学習していくことを基本とし、今後も研修を深め、よりよい授業づくりを行っていきたくと考えます。
- ◎ ⑥前回のアンケートで「あてはまらない」の回答が最も多かった項目です。今回は10ポイント以上「あてはまる」と回答した割合が上昇しています。自ら学ぼうという意欲を持ったり、家庭での学習習慣を身につけることは大切なことと考えます。今後も授業の中で「考える」「わかる・できる」喜びを味わえるよう今後もがんばっていきたくと考えています。また、1学期に配付した「家庭学習のすすめ」もご活用下さい。よろしく申し上げます。
- ⑩～⑬について、保護者の方が、おうちでお子さんの頑張りをほめたり、困っているときに励ましてくださったり、時間をとって話を聞いてくださる保護者の方が多くいらっしゃいます。今年度1ポイント程度下がった項目ですが、昨年度大きく伸びた項目ですので、良い傾向を維持できていると捉えることができるのではないのでしょうか。学校での安定したくらしづくりの土台は、家庭です。これからも、よろしく願いいたします。
- △ メディアについては学校でもより力を入れていきたくと思っています。特に今社会的問題となっているゲーム依存や動画視聴の長時間化、SNSにかかわる問題等を含め、保護者の皆様への情報提供しながら、ご家庭と連携してよりよいくらしづくりを進めていきたくと思っています。
- △ ⑧について他の項目と比較し低い数値になっています。また、昨年度と比較しても1.7ポイント低下しています。粘り強く努力する忍耐力がまだ十分育っていないというご指摘と捉えます。学習課題や子どもたち一人ひとりの自分の課題に向き合い、できるようになったことや努力したことを常に確認しながら教育活動をすすめていくことを、今後も大切にしていきたいと考えています。